

川崎区危機管理地域協議会の部会構成・開催経過等について

川崎区危機管理地域協議会とは…区民、事業者、行政の連携を強め、防災・減災に関する情報共有、課題の協議・検討を行うことで地域防災力を高めることを目的として平成24年6月に設置しました。全体会と分野ごとの専門部会から構成されています。

【構成図】

全体会議

臨海部/帰宅困難者対策部会

【テーマ】: 臨海部を含めた帰宅困難者対策の検討
 【参加団体】: ①鉄道、バス等交通関係 ②帰宅困難者一時滞在施設 ③警察、消防 ④臨海部企業…他
 【方針】: 川崎臨海部の企業市民を含む帰宅困難者対策について検討します。
 「災害発生直後はむやみに移動を開始しない」という国の指針に基づき、「臨海部の企業市民が帰宅困難者となるのをいかに抑制するか」をテーマに協議を進めます。

自主防災/特別支援部会

【テーマ】: 避難所の開設・運営及び災害時要援護者支援の検討
 【参加団体】: ①自主防災組織 ②民生委員 ③学校関係者 ④社協 ⑤介護支援団体…他
 【方針】: 災害発生時の要援護者の安否確認や避難支援、また避難所での対応等についての課題を検討します。
 また、避難所開設・運営訓練を推進し、実施経過を部会等に報告するとともに、あわせて課題を協議し、意見等をフィードバックすることで訓練の実効性をたかめていきます。

医療・救急部会

【テーマ】: 災害時医療体制の再構築と区の役割
 【参加団体】: 医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院協会、看護協会…他
 【方針】: 全市的な取組として検討が進められている災害時医療体制再構築の議論を踏まえながら、医療救護所の位置づけや拠点病院と一般病院の役割など、適時情報を共有し、課題解決に向けた検討を行っていきます

ライフライン部会

・市の連絡会議と連携し、必要に応じて開催を検討します

【平成25年度の開催経過】

【第1回部会】: 平成25年7月29日
 1 地域情報化アドバイザー紹介
 2 部会の趣旨・目的
 3 部会のスケジュール
 4 川崎市の災害情報の収集・伝達等
 5 3.11時の状況と以降の取り組みについて
 6 地域情報化アドバイザーによるレクチャー

【第2回部会】: 平成25年10月30日
 1 南海トラフ中間取りまとめについて
 2 アンケートの結果報告について
 3 港湾の防災・減災について

【第3回部会】: 平成26年1月31日
 1 平成25年度取りまとめ(案)について
 2 アドバイザーの取りまとめ
 3 平成26年度の活動について

【第1回部会】: 平成25年8月7日
 1 平成24年度までに整理された課題と今年度の取組
 2 地域での災害時要援護者の支援体制づくりについて

【第2回部会】: 平成25年11月18日
 1 地域での災害時要援護者の支援体制づくりについて(前回の続き)
 2 避難所開設・運営訓練について

【災害時要援護者避難支援制度説明会】:
 平成25年12月9日

【第3回部会】: 平成26年2月20日
 1 平成25年度の活動まとめ
 (1) 要援護者支援関係
 (2) 避難所開設・運営訓練関係

【第1回部会】: 平成25年8月6日
 1 川崎市の災害時医療体制の考え方、取組状況について
 2 市立川崎病院の災害医療体制について

【第2回部会】: 平成25年10月12日
 川崎市立川崎病院災害医療対応訓練

【第3回部会】: 平成25年11月21日
 1 川崎市の防災行政無線について
 2 大規模災害発生時の医療関係情報収集・伝達フロー図(たたき台)について
 3 川崎病院災害医療対応訓練の報告について

【第4回部会】: 平成26年2月20日
 1 平成25年度の振り返りと来年度に向けての課題(展望)

【平成26年度以降の展望】

◎臨海部の企業を中心とした作業部会の編成による実践的な活動の提案。
 ・どのような情報が、誰にいつ必要か。
 ・情報提供のあり方

◎行政と臨海部企業を含めた関係機関との連携手段の確立、及びネットワーク構築のための具体的方法の模索。
 ・より具体的な情報の送受信方法を

◎地域のよりコアなメンバーで支援体制や方法について率直な意見交換を行い、発災時の協力体制のあり方を検討します。

◎避難所毎に避難所運営マニュアルや開設訓練マニュアル等の更新、活用するとともに、適宜部会にも情報提供を行いながら、避難所体制の強化を図ります。

◎市の医療救護体制の再構築を注視し、区の役割について検討します。

◎川崎病院の災害医療対応訓練への区職員の参加を促し、意識向上と連携強化を図ります。

◎区内病院と連携強化に向けた取組を進めます。